学校番号	1006

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	新課程　パラレルノート　数学Ｂ［数列，統計的な推測］（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

数列，統計的な推測について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力をもつことができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 数列	1節　数列とその和 1　数列 2　等差数列 3　等差数列の和 4　等比数列 5　等比数列の和	a: 数列の定義，表記について理解している。数列の一般項や和を求める公式を理解し、適切に計算できる。 b:等差数列，等比数列の隣接する項の関係を考察できる。 c: 数列の規則性を見つけ、空欄に当てはまる数を見つけようとする。さらに、自ら規則性を考え、数列を作ろうとする。 等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち，等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ノート	レポート 提出ノート 振り返りシート
		6　和の記号Σ 7　自然数の2乗の和 8　いろいろな数列の和 9　階差数列	a: Σの定義，表記について理解している。数列の一般項や和を求める公式を理解し、適切に計算できる。 b:初項から第n項までの和に着目して、数列の一般項を考察できる。 数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 c: 数列の規則性を見つけ、空欄に当てはまる数を見つけようとする。さらに、自ら規則性を考え、数列を作ろうとする。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ノート	レポート 提出ノート 振り返りシート

2学期		2節　漸化式と数学的帰納法 10　漸化式と一般項 11　数学的帰納法	a：漸化式の意味を理解し，具体的に項が求められる。 初項と漸化式から一般項が求められる。 数学的帰納法を用いて，等式，不等式を証明できる。 b：初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について，考察しようとする。 c：数学的帰納法を利用して，いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 提出ノート	 観察 レポート 提出ノート 振り返りシート
	2章　統計的な推測	1節　確率分布 1　確率変数と確率分布 2　確率変数の期待値 3　分散と標準偏差 4　二項分布 5　二項分布と期待値，分散，標準偏差 6　連続型確率変数 7　正規分布 8　二項分布の正規分布による近似	a：確率分布を計算式や分布表を用いて表すことができる。 二項分布を含む、確率変数の期待値，分散，標準偏差を求めることができる。連続的な確率変数について理解し，確率密度関数から確率を求めることができる。 標準正規分布表を用いて，標準正規分布に関する確率の計算ができる。 b：確率変数の期待値，分散，標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察することができる。正規分布の特徴を理解し，さまざまな視点からとらえられる。 日常の身近な問題を統計的に処理するのに正規分布を利用できる。 c：確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。 二項分布に興味・関心をもち，さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。 連続的な確率変数である正規分布に興味をもち，正規分布について積極的に考察しようとする。	定期考査	定期考査 レポート 提出ノート	 レポート 提出ノート 振り返りシート

3学期		2節　統計的な推測 9　母集団と標本 10　標本平均の分布 11　母平均の推定 12　母比率の推定 13　仮説検定	a: 推定にかかわる用語・記号を適切に活用することができる。 信頼区間の考え方を用いて，母平均や母比率の推定ができる。 仮説検定にかかわる用語を適切に活用することができる。 b: 母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 推定や信頼区間の考え方がわかる。 c: 母集団や標本の特徴を理解しようとする。 無作為抽出の方法について関心をもち，調べてみようとする。 仮説検定に関心を示す。	定期考査	定期考査 レポート 提出ノート 発表	 レポート 提出ノート 発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度